

## 【パターン5】講義+政策アイデア出しグループワーク+発表（3日間、90分×3）

- ワークの目的：地域課題の自分事化+行政等が取り組むことのアイデア出し+研究成果の発表
  - 複数日にわたる授業時間をとれる場合や、複数グループで活動できる教室（会議室）向け
  - アイデア出しからさらに発展して研究したい場合向け
- 例：半年程度にわたる高校における探究活動、半年程度にわたる大学におけるゼミ活動

### 第1回

#### ①県職員による講義 (30分)



(R7実施 長崎県立大学)

- 本県の現状（人口推移等）、総合計画、県の主な取組等について説明

#### ②県職員との意見交換 (60分)



(R6実施  
活水女子大学)

(R6実施 島原中央高校)

- 総合計画の記載内容を自分事として考える場とする
- 県職員を交えてグループワークを行い、ワークショップ形式で意見を出し合う  
※4～5人×5～6グループを想定
- ワークの最後に、皆で取り組んでいくこと（行政に取り組んでほしいこと）について話し合う

### 第2回

#### ③グループワーク続き +アイデア出し（60分）

- ②のグループワークの続きからスタート（県職員なし）
- 最後に、各班から皆で取り組んでいくこと（行政等に取り組んでほしいこと）と、自分にできることを発表



研究、発表準備  
※1週間～数か月を想定

### 第3回

#### ④研究発表会



(R6実施 長崎大学)

- 課題の解決や理想の長崎県にするために進めるべき取組について、③からさらに研究を深めたうえで発表